

## 【基本方針】

住み慣れた町で、その人らしく、慈愛に満ちた生活を支援する

## 【年間目標】

- ①良質なサービスの提供
- ②ご家族との連携
- ③地域との連携
- ④自立支援に向けた取り組み
- ⑤目標稼働率97%を目指す
- ⑥経費削減を図る

## 【実践報告】

- ① 良質なサービスの提供
  - ・接遇に関して、親しみを感じることで言葉遣いが砕けたり、認知症の周辺症状が強く出ている時に、口調や表情がきつくなることがあった。会議や業務中での指導を繰り返し行った。
  - ・認知症状態に応じた専門的ケアの実施に関して、介護計画書を3ヶ月毎に更新をし、状態に合わせた支援の提供を行った。
  - ・安全管理の徹底に関して、事故の発生件数は前年度に比べると減少している。しかし、服薬に関する事故の件数は同等の件数が上がっており、起床時や食前に服薬する薬に関して多く挙がっている。職員への意識付けをするとともに、薬の必要性や服薬時間の見直しを行った。
  - ・感染症に関しては、グループホーム入居者様の中には発生することはなかったが、職員が1名インフルエンザを発症することがあった。
  - ・チームケアの実施に関しては、週に1回のユニットミーティングや月に1回の会議を開催し、支援内容を話し合う機会を持った。
  - ・余暇活動の充実に関しては、外食レクや行事を開催することで、活動的な余暇を提供することは出来たが、気候により変動はあった。生活の中での役割提供は、入居者様の状況により、家事を手伝っていただいたが、出来ない入居者様もおられる状況であった。
  - ・職員のスキルアップに関しては、認知症介護実践者研修に4名の職員を参加。毎月の会議の中で勉強会を開催し、基本的な介助方法や感染症、認知症ケアなどの内容を行った。

・定期的なサービスの評価に関しては、7月に第3者評価を受け、ご家族へのアンケートも実施した。

② ご家族との連携

昨年同様、季節行事へご家族の参加を促し、多くのご家族に参加して頂いた。また、家族会を年2回（8月 3月）開催し、意見交換を行った。

③ 地域との連携

・運営推進会議は、2か月に1回開催した。ご入居者の地域交流に関しては、福祉センターで開催するひな祭り会への参加や、塩屋キッズ音楽隊の訪問などを行った。また、地域で活動するボランティアの導入をし、毎月3組のボランティアに活動をしていただいた。管理者の地域ケア会議やグループホーム連絡会などの参加は定期的にできた。また、地域の事業所の集まりである、Tラインへの参加も出来た。

④ 自立支援に向けた取り組み

・食事に関しては、入居者様の状態に合わせた形態での提供をすることが出来た。水分摂取に関しては、嗜好に合わせたものの提供をすることで平均1,435cc摂取することが出来た。歩行などの活動量に関しては、雨季や冬季など、季節によって差があったが、外出行事などを計画実行し、屋外での活動を支援した。

⑤ 目標稼働率97%を目指す

・平成28年度の稼働の結果は、98.3%であった。長期の入院は1名おられたが、入退居がほとんどなく、安定した稼働状況であった。入院者数は3名。入院延べ日数は84日であった。

⑥ 経費削減を図る

・物品の使用や購入に関しては、管理者で確認している。ご入居者の消耗品も含め、適正な量の使用となっているか継続して確認が必要である。

平成28年度月別稼働状況													
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
平均利用人数	18	18	18	18	18	18	17.1	17	17	17.6	17.8	17.6	17.7
平均稼働率	100	100	100	100	100	100	95.2	94.4	94.4	98.2	99	98	98.3